

とどろ しほ おかやま ひろしま やまぐち

コープCSネット

中国・四国

便り

第66号

生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合会報

としま かがわ えひめ こうち

発行
2025年1月14日
通巻 66号

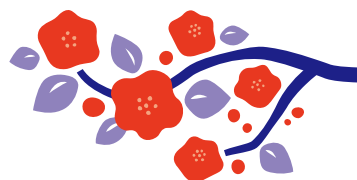
CO-OP 9生協の夢広がるネットワーク

謹んで
新春のお慶びを
申し上げます

旧年中はコープCSネットの事業・活動に対しご支援・
ご協力を賜りましてありがとうございました



コープCSネット理事長
小泉信司



2024年度 商品活動交流会を開催

2024年度商品活動交流会をおかやまコープオルガホールで開催し、8会員生協（組合員・職員）・取引先・コープCSネット役職員計47名が参加しました。全体テーマを「災害への備え」とし、ふだんの暮らしの延長線上にある「備え」と組合員活動で「できること」を交流いただきました。



CONTENTS

ページ

- ② コープCSネット 理事長 年頭のご挨拶
- ③ 専務理事
- ④ 2024年度商品活動交流会を開催
- ⑤ 店舗店長交流会を開催
仲間づくり戦略交流会を開催
- ⑥ コープCSネットトピックス
- ⑦
- ⑧ 会員生協周年行事
「もずく基金」からのお知らせ



コープCSネット理事長
小泉 信司

謹んで新春の お慶びを申し上げます



旧年中は、私どもコープCSネットの事業活動に対し、ご支援・ご協力を賜り、大変ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

昨年は、年が明けた元日に能登半島地震が発生し、一年が経過した今でも多くの方が厳しい生活を強いられています。一日も早く日常の生活に戻られることを願うとともに、我々としてもできる限りの支援を継続して行っていきたいと考えています。

また、ロシアのウクライナ侵攻は終結の糸口も見えず、イスラエルの紛争も続いている中、多くの人々が犠牲となり、そして悲しみ・苦しんでいます。

このような情勢の中で、「日本原水爆被害者団体協議会」の皆さんがノーベル平和賞を受賞されたことは、世界恒久平和の実現・核兵器廃絶に向けて、大変意義のある受賞であり、私達の今後の平和活動に大きな勇気を与えてくれました。

一方、国民の生活は、実質所得が伸びない中、食料品含めた全商品の値上げ・不足により一層厳しくなると同時に将来への不安も増大しています。

厳しい事業環境の中、コープCSネットとしても、会員生協とともに、様々な課題に取り組んでまいりました。組合員の価格要望に応える商品企画や、簡便素材の品揃え拡大、またエシカル消費に繋がる商品企画も日本生協連と連携し・積極的に取り組みました。

また、会員生協とともに、現状のMDの見直しも進めながら、宅配リノベーションの取り組みや、コープアプリの改善も進め、会員生協の皆さまからも一定の評価をいただくことができましたし、店舗事業分野においても、店長交流会の開催や連携課題の確認・取り組み等進めることができました。

2025年は、これまでの取り組みをさらに強化しながら、MDを見直し改善を進め、利用点数の減少傾向に歯止めをかけること、運営面においては、課題を明確にし、会員生協さんと一緒に宅配リノベーションに取り組みながら、コープしこくさんとの関係強化や広域連帯の検討を進めてまいりたいと考えております。

今年も、会員生協・お取引先の皆様と一緒に組合員に喜んでいただける事業を進めてまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

皆様にとって、素晴らしい一年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。





コープCSネット専務理事
塩道 琢也

謹んで新年のご挨拶を申し上げます 旧年中は格別のご厚情を賜り、 心より感謝申し上げます

昨年元旦に発生した能登半島地震、その後の豪雨災害、8月には宮崎県日向灘を震源とする地震により南海トラフ臨時地震情報が発令されるなど、自然災害に見舞われた1年でした。被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、今も災禍の最前線で、困難に立ち向かっておられる全ての皆様に敬意を申し上げます。

世界的なインフレ、ウクライナ、中東における戦争・紛争や近年になり物価高騰によって組合員の暮らしは一層厳しく、先行き不安が高まっています。また、コロナ禍で伸長した宅配事業は事業活動にかかるコストが増加しており、取り巻く環境も厳しさを増しております。

このような状況下で持続可能な宅配事業構築に向けて会員生協とDX、宅配リノベーション、事業課題推進の連携強化に取り組むとともに、四国地区4生協との事業合流に向けて確認し、中国・四国9生協の連帯事業構築に向けて検討することになりました。

厳しい暮らしへの対応は、「暮らし応援全国キャンペーン」を実施して少しでも安い価格でご利用いただく取り組みや、SDGs、暮らしに役立つ価値ある商品の企画に取り組み、事業状況は堅調に推移しておりますが、8月の「米騒動」など外的要因による影響もあってのことであり、年度末に向けて予算を許さない状況となっております。実利用高は原料高騰の影響もあって予算を維持できておりますが、利用点数は減少しており暮らしへの貢献度合いが高まったとはいえない状況です。商品価格、暮らしの提案、多様な要求にこたえる価値ある商品開発など、コープCSネットとしての役割を果たすために、これからも業務レベルの向上に

取り組んで行く所存です。

本年はコープCSネット設立から20年目となります。また、被爆、終戦80年という節目の年でもあります。引き続き物価高騰に加え災害や事件、事故への不安が募る日常生活になると予想され、より暮らしへの対応を商品事業の中で強めたいと考えております。同時に、全国生協、会員生協と事業連帯のリデザイン強化「つながる力で未来をつくる」ビジョンのもとで、生協のつながる力で会員生協の未来を共に創る第一歩の年として考えております。

組合員の多様な暮らしに役立ち続け、社会性発揮のためにも、組合員、会員生協の声を聴き、見て、話して共に考える場をつくり、継続した取り組みが年々深化していけるようにコープCSネットも皆様と一緒に進んでいけるよう努力をしてまいります。

この新しい年がより佳き年になるよう心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。本年も宜しく申し上げます。



2024年度 商品活動交流会を開催

開催日：2024年12月9日（月）

会場：おかやまコープオルガホール（岡山市北区奉還町）

2024年度商品活動交流会をおかやまコープオルガホールで開催し、8会員生協（組合員・職員）・取引先・コープCSネット役員計47名が参加しました。商品活動交流会は、会員生協の活動組合員が商品学習や商品を通じて活動したことを共有する場で、年1回開催しています。今回の交流会は全体テーマを「災害への備え」とし、ふだんのくらしの延長線上にある「備え」と組合員活動で「できること」を交流いただきました。



司会：コープCSネット
市川全体区理事



全体会場の様子
グループごとに着席しました

2024年1月の能登半島地震や8月の南海トラフ臨時情報など、私たちはいつ災害に合うかわからない状況にあります。学習講演では、こくみん共済coopより大東光氏を講師に招き「いつかは起きる大地震」をテーマに、中国四国でも大きな被害が想定される南海トラフ大地震への備えについて講演いただきました。取引先報告では、清水産業(株)より正岡氏、(株)サンコーより出口氏、池下氏を招き、「簡易ポータブルトイレ」の商品学習を行いました。食品の備えをしている方が多くいますが、トイレの備えをしている方は少ないことや、実際の被災地でのトイレ事情を学習しました。参加者からは、ポータブルトイレの防臭について質問がありました。

会員生協報告では、コープやまぐちより「知ってる？ローリングストック！」をテーマに、紙芝居形式で学習内容を報告頂きました。参加者からは、「日常の何気ない買い置きがローリングストックになる事がわかり良かった」などの感想を頂戴しました。



コープやまぐちの皆さんは紙芝居形式で発表



グループ交流では5グループに分かれ、「災害への備え」について意見交換し、「どう広げていきたいのか」についてまとめていきました。交流会の最後にグループごとの交流内容を掲示し参加者全員で共有しました。

参加の皆さまからは「防災について、より意識が高くなった」「色々な方（生活している場所が違う）との交流は違いがあり、新しい気づきになる」「自生協で消防士が講師となり学習会を開催した際にもトイレの問題を強く訴えていらっしやいました。ダンボールトイレとプラスチックトイレの両方に座って、明らかな違いを感じました。そのことを組合員さんにも伝えたいと思います」などの感想を頂戴しました。



グループ交流の様子

グループで話した内容をまとめ、掲示しました。交流会終了後、多くの参加者が模造紙を撮影していました



学習講演 講師の大東氏(こくみん共済coop)

ハザードマップの被害想定は、一定条件下の想定であり、石巻市はマップから外れた地域まで津波被害があったことや、想定に囚われずその状況下で最善を尽くすことが大切であることを説明されました



取引先報告 (株)サンコー 出口氏

ご自身の災害応援の体験を交えながら、災害時におけるトイレの重要性について報告があり、「簡易ポータブルトイレ」は汚れた時に洗うことができ、段ボール製の簡易トイレよりも衛生的であることが説明されました



商品学習で紹介されたトイレ防臭対策もされています

商品名：
簡易ポータブルトイレ
2025年3月4回企画予定



閉会の挨拶：
コープCSネット 岩崎全体区理事

第1回 店舗店長交流会を開催

開催日：2024年10月23日(水)、24日(木)

参加：中国四国6会員生協（おかやま、ひろしま、とくしま、かがわ、えひめ、こうち） 店舗店長12名

コープCSネット二葉の里本部(23日)、生協ひろしまコープ東広島店(24日)において、第1回目となる店舗店長による交流会を開催しました。店舗現場レベルでの意見交流や視察などを通じ、店舗運営や共通課題について意見交換を行いました。各生協店舗の現場で直面する「次世代教育・育成」「勤務体制」「人時不足」「競合店対策」などの共通の問題や「10年後のありたい姿」について意見交換し、店舗視察では、鮮度や差別化、付加価値のための品揃え、メニュー提案、買う側の視点から売場を考える事例などを交流しました。参加者からは、「店舗販促プロモーションや商品情報の共有、店舗省人化対策（マルチジョブ、外部委託、自動発注など）の事例共有が出来た」などの感想を頂戴しました。この交流会は不定期で開催し、中国四国各県の生協店舗を視察会場として、店舗店長の意見交換や事例共有を図っていく予定です。



交流会の様子

第2回 仲間づくり戦略交流会を開催

開催日：2024年11月28日(木)、29日(金)

会場：COCOLAND（山口県宇部市）

参加：中国四国、九州地区の15生協の「仲間づくり」の戦略を担う職員

共催：コープ九州事業連合

2024年11月「仲間づくり戦略交流会」をCOCOLAND（山口県宇部市）で開催しました。「仲間づくり戦略交流会」は、生協組合員を拡大する「仲間づくり」を事業的・戦略的な観点で活動交流し、生協間の繋がりを強化することを目的としています。今年は、より多くの生協との交流を求める声があり、コープ九州へ声を掛け共催が実現し、中国四国、九州地区の15生協の「仲間づくり」の戦略を担う職員、コープ九州職員、コープCSネット役員合わせて38名が参加しました。



グループでそれぞれの生協の事例を交流しました

※仲間づくりとは、新規組合員を増やし、生協の輪を広げていくための活動です。コロナ禍を経て仲間づくりの手法も多岐にわたり、様々な施策が行われています。

交流会で果たす「4つの目的」

- 次年度の方針策定に活かされる事柄を持ち帰る
- 連合会統一の仕組みや企画、広報について論議・検討
- 会員生協間の交流を活性化
- 全国の先進事例・好事例を研究



交流会の様子

初日は、24年上期を中心に取り組んだことを4生協に報告いただいた後、報告内容についてグループに分かれて意見交換を行いました。翌日は、交流グループを変更し、各生協からの「事前報告資料」に基づき、自由に意見交換を行いました。その後、生協ごとに分かれて「交流会で獲得したこと、2025年度に活かすこと」についてグループワークを行いました。中国四国地区だけでなく、九州地方も含めて戦略の交流をすることで、広く他生協の活動、地域特性に応じた仲間づくり施策を学びあい、次年度の方針策定に活かすことなど、参加者相互で交流を深める機会となりました。



コープCSネット トピックス

トピックス
1

組合員理事懇談会を開催

開催日：2024年10月21日(月) 会場：おかやまコープ オルガホール(岡山市北区)

2024年第1回目となる組合員理事懇談会を開催しました。組合員理事懇談会は、コープCSネットの会員生協組合員理事が集まって、コープCSネットの事業状況や商品学習、それぞれの商品活動などを通じて交流を深めています。今回の懇談会では、商品学習に(株)ウィルミナ、日本生協連を招き下期重点商品「スクワニングジェル濃



理事懇談会の様子

いめ」や冷凍ミールキットを学習しました。実際に冷凍ミールキットの調理体験もいただき、昼食メニューとしました。昼食休憩中には、人気の商品セミナーのひとつ「カラー診断」のデモンストレーションを行い、商品セミナーを実感頂きました。昼食後のグループ交流では、「つながる楽しさ～商品活動～」をテーマに交流を行いました。一方で、参加者の募集方法、声の募集など悩まれていることや商品活動を通じて、商品が改善されたことや、オリジナル商品の開発に携わったことなどが交流されました。次回は2025年3月の開催を予定しています。



冷凍ミールキットの実際の調理の様子
「美味しい」「簡単に見映えの良い商品ができる」と好評でした。

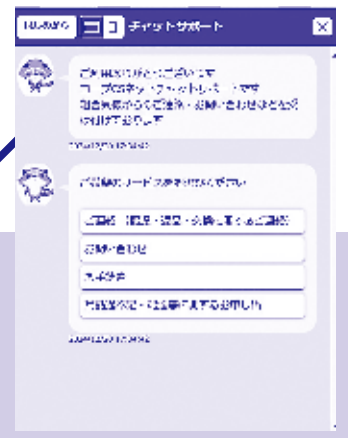
トピックス
2

チャットサポートがスタート!

コープの新しいコミュニケーションツールとして「チャットサポート」を2024年10月28日(月)より開始しました。「チャットサポート」は、配送のことや生協のことが気軽に問い合わせできるサービスで、eふれんずやコープアプリのマイページからアクセスできます。



- 電話が繋がらない!・待つイライラを解消!
- 24時間いつでもチャットで申込ができます



～こんなことをお聞きください～

- 配達時、留守にするんだけど
- 担当者に、伝言があるんだけど
- 注文内容を確認したいんだけど
- 商品の次回企画が知りたい など



トピックス
3

2024年度開発商品・品質管理研修会を開催

開催日：2024年9月25日(水)

会場：広島市東区民文化センター(広島市東区)

参加：PB 開発商品、産直品の取引先54社78名、会員生協職員1名、コープCSネット役職員32名

共催：コープCSネット虹の会

この研修会は、品質管理の向上を目的にPB開発商品・産直品の取引先を対象にコープCSネット設立当時より実施しています。今回で19回目の開催となり、54社78名の参加がありました。

2024年末現在のコープCSネット管理のPB商品数は165商品(CSPB43商品、会員生協PB108商品、留型14商品)となっています。

研修会は、「HACCP導入から運用へ ～自発的な改善活動～」をテーマにすすめました。広島市保健所より講師を招き、広島市における食品衛生監視活動やHACCP制度化について学習講演を頂きました。取引先の活動事例は、「自発的な改善事例」をテーマに3社より安全衛生巡回や5S活動について報告いただきました。コープCSネットからは、特別管理原材料点検の事例について報告しました。

管理職員を対象とした「ハラスメントセミナー」を実施

開催日：2024年11月7日(木)
 会場：コープCSネット 二葉の里事務所（広島市東区）
 講師：小野社会保険労務士事務所 小野環氏
 参加：管理職員 14名

職場でのハラスメント防止に向けて、管理職員を対象に「ハラスメントセミナー」を実施しました。

職場でのハラスメントは、ニュースやSNSで取上げられるなど社会的な問題になっています。セミナーでは、職場を取り巻く様々なハラスメント、判例、ハラスメントと適正な業務指導の違い、管理職員としての対処などの座学の後、ハラスメントに該当しない指導方法、ハラスメント相談に対する適切な対応などについてグループ討議を行いました。

セミナーではアンガーマネジメント（怒りのコントロール）の講義もありました。管理職員には、常に職場環境に気を配り、「叱るときには叱る」「指導するときは指導する」ことで職場環境を改善し、ハラスメントを防止することが求められています。

コープCSネットでは引き続きハラスメントセミナーを開催し、ハラスメントのない職場環境づくり、職場内のコミュニケーションの促進、働きやすく生産性の高い職場運営に取り組んでいきます。



ハラスメントセミナー 受講の様子



講師の小野氏
（社会保険労務士）

消防避難訓練を実施

開催日：2024年11月28日(木)
 場所：コープCSネット二葉の里本部事務所（広島市東区）

11月28日(木)、コープCSネット二葉の里本部事務所（広島市東区）において消防避難訓練を実施しました。今回は、「高知県室戸岬で震度7の地震が発生、3階給湯室付近でも火災が発生、津波警報も発表された」という想定で実施。誘導係りの指示に従い高台にある広島東照宮を目指し、その麓にある二葉の里第2公園（別名：シリブカ公園）に避難しました。コープCSネット、日本生協連から50名以上の参加がありました。総評の中で白髭執行役員からは、「本来は坂を登り広島東照宮の広場に避難すること」「南海トラフ大地震が発生した場合は、広島県内は震度6、約69,000戸が全壊、津波到達予測は最短で3時間後、津波の高さ予測は2～3メートル」など、実際の災害規模想定を説明しました。

実際に避難する際には余震への対応や火災をさけての避難など臨機応変に行動することが必要です。日頃から複数の避難場所を確認し、状況に応じて判断していくことを確認して消防避難訓練は終了しました。



訓練の様子 50名以上が参加



総評を述べる管理部 白髭執行役員

カゴメ×コープCSネット企画 インスタライブ第3弾!!

開催日：2024年12月4日(水)

12月4日(水)にコープCSネット公式Instagramフォロワー向けにインスタライブを配信しました。料理講師は、紙面でもおなじみの管理栄養士 松本 海保 先生。「カゴメ 野菜一日これ一本 200ml」で作る「簡単コクうま！キーマカレー」を実演しました。今回は、コープCSネット小泉理事長も登場し、料理の腕前を披露しました。ササッと10分でできるレシピで、視聴者からは「キーマカレーって家で作れるんですね」「煮込み時間を減らせるのが素晴らしいですね」「また、ありがとうございます!!」などの書き込みをいただきました。



インスタライブの様子はアーカイブ配信中です。



インスタライブ 出演者

◆ 会員生協周年行事 ◆

コープCSネットの3会員生協が周年を迎え、周年を記念した生協祭りを開催しました。どの生協も多くの組合員さんで賑わいました。

【おかやまコープ 再建50周年】

9月28日(土)、コンベックス岡山(岡山市北区)で「コープフェスタ2024」が開催されました。

当日は、おかやまコープとつながりのある生産者・メーカーや自治体・団体、職員や組合員さんなど148団体が出展し、約23,000人の来場者でにぎわいました。今回は、再建50周年のブースの設置や発売当時のパッケージデザインをイメージして作成した「生協食パン」の配布など、再建50周年をお祝いしました。



開場前にテープカットを行いました



会場の様子



大物産展「コープマルシェ」では、お取引先や関係団体などから88ブースの出店があり多くの組合員さんで賑わいました。

【とくしま生協 40周年】

11月23日(土・祝)、徳島市のアスティとくしまでとくしま生協40周年&とくしま生協友の会35周年の記念イベント「とくしま生協フェスティバル」が開催されました。当日は、さわやかな秋晴れとなり、天候に恵まれました。来場者は、なんと過去最高の約10,000人! 会場ではメインステージでの催しや、物産展「コープマルシェ」など、楽しい企画が盛りだくさんで一日中賑わい、笑顔の輪が広がりました!

【生協しまね 40周年】

12月8日(日)、松江市くにびきメッセ小ホールにて、生協しまね創立40周年記念「みんな集まれ コープフェスタ」を開催しました。当日は、荒天でしたが、1,300人ももの来場がありました。

山陰でお馴染みの取引先のみなさんにも多数出店していただきました。また、組合員さんが中心となった「みそ玉づくりコーナー」などの体験コーナーは大いに賑わい、みんなで生協しまねの40周年を祝いました。



当日の様子



コーすけが大人気でした

◆ 「もずく基金」からのお知らせ ◆

【環境大臣賞を受賞】

コープCSネットが参加する「恩納村コープサンゴの森連絡会」が、第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おいた大会～で、漁場・環境保全部門での環境大臣賞を受賞しました。受賞は、第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～(平成28年9月)での環境大臣賞受賞に続いて二度目となります。今回の受賞では、サンゴ養殖によるサンゴの植



受賞式にて:写真中央
パルシステム連合会・渋澤専務理事
(恩納村コープサンゴの森連絡会 会長)

え付け、消費者との交流による生産物や産地への理解を深める活動、研究機関と連携した里海の管理手法の向上、そしてこの活動が15年と長期にわたり継続されていること、またそれが陸域からの環境保全(赤土流出対策)にも取り組みが発展していることが高く評価されました。

～恩納村コープサンゴの森連絡会～

全国33生協と株式会社井ゲタ竹内、恩納村、恩納村漁業協同組合が参加しています。

【海水温度上昇によってサンゴの白化が進む】

2024年の猛暑は、陸地だけでなく海にまで影響を及ぼしました。恩納村のサンゴも例外ではなく、海水温の上昇により1998年の白化に迫る被害となっています。「もずく基金」ではこの状況を改善していく支援をすすめていきます。

【もずく基金の状況】

2024年4月～12月の「もずく基金」累計は、2,055,468円(前年累計比103.8%)となっています。



←「もずく基金」
対象商品は
このマークが
目印

～もずく基金とは～

中国地区5会員生協とコープかがわの組合員が対象商品を利用し、売り上げの一部を「もずく基金」として恩納村のサンゴ礁再生事業に役立てています。産地である沖縄県恩納村漁協と製造メーカーの(株)井ゲタ竹内、恩納村、コープCSネットの4者が2010年4月に開始しました。